

# 05

## 【東京の路地は今・・・】写真集より

色町・下町・記憶の町

Tokyo Alleys Now・・・

Red Light Quarter・Downtown・Past Memory Street

映像メディア学科・非常勤講師  
Department of Visual Media・Lecturer

光 幸國 Yukikuni HIKARU

今又、東京が変わろうとしている。かつてのバブル時代、急速に街が変わった時のように。

ぼくが子供のころ、おばあちゃんたちが井戸端で洗濯をし、子供たちは鬼ごっこで長屋の間を走り回り、夏の夕暮れには、おじいちゃんがステテコ姿のまま縁台でウチワ片手に夕涼みをしていた。そのような路地裏の生活風景は、東京中どこにでもあったものだ。そんな戦前から続く古い路地裏や戦災後のバラック長屋が立ち並んだ庶民の住空間が、バブルの最盛期に取り壊され、虫食いのような空き地になった。そしてバブルの宴がはじけたあと、失速した再開発も、今また息を吹き返し、それらの空き地には近代的なビルが建ち始め、道路拡張や防災のため、古い路地裏が本当に消え去ろうとしている。戦後60年も過ぎ、明治大正生まれのお年寄りも少なくなった。あと10年もしないうちに、東京の路地は一変するだろう。歴史的建造物は移築されて残っても、このような路地裏はそこに住む人々の「暮らし」があつての路地裏である。たとえ建物だけ移築されても本来の姿は失われるだろう。

この写真集は、このような路地裏を歩き、路地裏から見た、変わりゆく東京の2004年6月から2005年7月までの約1年間の記録である。



佃島／2004.06.25



千駄ヶ谷／2004.11.08



品川宿／2004.06.11

品川宿の旧街道は今では商店街。店も新しくなり、記念碑や記念館に名残りを伝えるのみ。漁船の船着き場は納涼船や遊漁船に変わり、漁師長屋には人影もなく、通りの向こうは別世界のビジネスシティ。



六本木 / 2004.07.06



山谷 / 2005.02.12

清川。教会の鉄格子に守られたマリア像は、鉄格子の外の現実をどの様に見ているのか？



千住宿, 北千住 / 2004.07.06



神田, 神田司町 / 2004.07.08



南千住 / 2004.09.05

写真集【東京の路地は今・・・】

三一書房より2007年4月出版(図書館協会選定図書)  
同時に同名写真展を銀座フジフォトサロンにて開催